



桂小場登山口からの登りの樹林帯(1日目)



将基頭山から木曾駒ヶ岳へ続く稜線(1日目)



夕暮れの宝剣岳。右は空木岳。木曾駒ヶ岳山頂から。(1日目)



木曾駒ヶ岳山頂から(1日目)



木曾駒ヶ岳山頂にて(1日目)



木曾駒ヶ岳山頂から早朝の北の眺め。中央遠くは槍穂高連峰、その左は乗鞍岳。(2日目)



御来光。左は八ヶ岳、右は甲斐駒ヶ岳。(2日目)



南アルプス北部。中央アルプスから眺める南アルプスは素晴らしい。(2日目)



南の眺め。左端は宝剣岳、中央は左が空木岳、そのすぐ右が南駒ヶ岳、右端は三ノ沢岳。右端遠くは恵那山。(2日目)



宝剣岳(2日目)



まるで島のように雲海に浮かぶ御嶽山(2日目)



宝剣岳と空木岳、南駒ヶ岳。中岳から。(2日目)



左から、甲斐駒ヶ岳、仙丈ガ岳、北岳(一番高い山)、間ノ岳、富士山、塩見岳、荒川岳、中岳、赤石岳(2日目)



主稜線から外れた位置にある三ノ沢岳。大変立派な山で、行ってみたい誘惑に駆られる。(2日目)



宝剣岳から空木岳、南駒ヶ岳へと続く稜線は大変景色が良い(2日目)



中央が南駒ヶ岳、その左が空木岳。(2日目)



木曾義仲が越えたとされる木曾殿越から空木岳の急な登り(2日目)



空木岳の第一ピーク(2日目)



空木岳山頂(2日目)



空木岳山頂から第一ピークを振り返る(2日目)



空木岳と赤檜岳の間の稜線(2日目)



赤檜岳から空木岳の方を振り返る(2日目)



雲が消えて空木岳が姿を現した(2日目)



南駒ヶ岳(2日目)



摺鉢窪カール。2日目は奥にある避難小屋に泊まった。(2日目)



3日目の朝焼け。右が空木岳、中央に宝剣岳が見える。南駒ヶ岳山頂から。(3日目)



甲斐駒ヶ岳から朝日が昇る(3日目)



2 日目に歩いた中央アルプスの核心部。中央が空木岳、左の一番高い山が木曾駒ヶ岳。(3 日目)



八ヶ岳(3日目)





南駒ヶ岳の南の稜線(3日目)







左が南駒ヶ岳、右が空木岳、中央遠くに宝剣岳(3日目)



南駒ヶ岳から南へ続く稜線。中央のなだらかな山が越百(こすも)山、その奥の山がこの日の目的地、安平路山。(3日目)







越百山(3日目)





塩見岳と富士山(3日目)



南駒ヶ岳を振り返る(3日目)



南越百山から安平路山へと続く中央アルプス南部の稜線。ここからひどい笹やぶの道となる。(3日目)



南越百山から御嶽山(3日目)



胸～顔の高さの笹やぶをかき分けながら進む。(3日目)



右の立派な山が安平路山(2367m)。景色はいいのだが・・・(3日目)





踏み跡を見失って、強引に笹をなぎ倒しながら進むこともしばしば(3日目)







3日目に泊まった安平路山避難小屋。この晩泊ったのは私だけだった。(4日目)



美しいシラビソの林が続く(4日目)



中央アルプスの最南端、摺古木山からの眺め。左は御嶽山。(4日目)



摺古木山の山頂からは、この縦走で歩いて来た山がすべて見える。右端が南駒ヶ岳、その左が空木岳、中央やや左が宝剣岳と木曾駒ヶ岳。



摺古木山から下る途中、南の眺め(4日目)



摺古木山登山口から林道を1時間半、車道を3時間弱かけて歩き、ようやく最終目的地のバス停(中央やや右)に到着。(4日目)